

みなさん、“キンボール”、最高でした！とっても楽しいスポーツです。

運動能力の差も、それほど勝ち負けには影響しない。それよりもチームワークがカギを握る。3小PTA・青少年指導員のみなさんが3小の“交流”を目的にしてくれた今回のイベント。それにぴったりのスポーツでした。

11月最後の日曜日、気持ちの良い天候にも恵まれた、長原小体育館での“3小PTAスポーツ大会”。長原・長吉南・長吉東、3校総勢36名の子ども、60名以上の大人が参加、体育館は熱気ムンムン、本当に大盛況でした。

市場先生が子どもたちに尋ねたところ、ほとんどの子がキンボールを、「やったこともなければ見たこともない」といった様子。ただ、体育館に入った段階で、白黒ピンク、3つの大きなボールがあったので（直径122センチ！）、子どもたちはフライング気味、嬉しそうにボールを触っています。このボール、適度に空気圧があり、とにかく触ってみたいくなる。みんなの気持ち、よく分かります。

3校集合の緊張感も、なんとなくこのボールが和らげてくれたのかスムーズに練習へと入りましたが、この段階では子どもたちもまだ、「キンボールって、???」という感じ。どこに並べばいいのか分からない長原4年を、6年がエスコートする素敵な場面を見つつ練習を眺めていましたが、でも、この後どんな展開になるのかときどきする気持ちはありつつも、とにかくこの日は“なんとなくあったかい雰囲気”。

当日の雰囲気を少し感じていただけたと思いますのでこのあたりで“キンボール”を説明すると、最大の特徴は、「1つのコートに同時に“3つのチーム”が入っている」ということかなあとと思います。珍しいですね、カナダ発祥、世界中で500万人が楽しんでおり、日本には1997年に入ってきたそうです。

でも、各学校それぞれから、子ども大人、先生保護者、“ごちゃませチーム”での試合を見てみると、やってることはとてもわかりやすく、「ああこんな感じがあ〜」と子どもたちもすぐに感覚を掴んだようです。大まかに言うと、1チーム4人、攻撃チーム3人が支えたボールを残りの1人が打ちます。ただそのときに、「守備側チーム2つの内、“どちらのチームに打ちますよ”」と宣言する。言われた方のチームはノーバウンドでボールを取らないといけない。もし取れたら、取ったチームが今度は攻撃、残りは守備。それを繰り返す。そして取れなかった場合は、取れなかったチーム以外の2チームに得点が入る、こんな感じです。

対抗戦ではなく、「3校の交流が目的だよ」という校長先生の話からスタートした今回ですが、“大きなボール”をみんなで追いかけて、キャッチしたりすることを通し、自然にその目的は達成できたのかなあとと思います（1チーム4人というのが絶妙でした）。作戦を練ったり（「もっとあっちを守って！」）、得点後にハイタッチをしたり、他校の先生がはじめにやり出した“打つ前にフェイント入れる作戦”を子どもがアレンジしてやってみたりと、交流し、でももちろん自分も楽しみながら、大人も子どももみんなで、居心地のいい空間を“つくって”いるような雰囲気がありました。

最後に、青少年指導員さんからのあいさつ。その中で、「3校PTA会長をはじめ、たくさんの方の尽力があり、今回のイベントができています」というお話が子どもたちにありました。本校の役員さんも早朝より南門で受け付けをしてくださっていましたが、ほんとその通りです。誰でも、ものごとを“当たり前のこと”として捉えてしまうことが時にはありますが、実際には当たり前なんかではなく、我々の目に見えないところでの“誰かの思いや行動”のおかげで成り立っている。子どもたちにはそんなことを知ってもらい、またそれを「同じ相手にでもいいし、また別の相手にでも返してあげられるような大人になってほしい」、そんな風に思います。

今回は長原小PTAの、「できる人が無理なく子どもたちのためにできることを」という想いを、周りの方の力を借りて実現することができました。個人的には、ちょっとしたハプニングに3校の保護者の方が自然と連携し対応したシーンと、日曜日の朝9時、“顔見知りではない”みんなでやったラジオ体操が清々しかったのも印象に残っています。

とっても素敵な1日でしたが、もしかしたら、「あのとき、キンボールしたとき、おった？」、なんて会話が何年後かに中学で行われているかもしれませんね。

